

水墨画 (すいぼくが)

身近にある動植物をモチーフにして、墨と水を筆で表現していく技法を学びます。画き直しが出来ない緊張感が魅力的です。同じ目的を持つ仲間と楽しい時間を過ごせたらと思います。

住吉花間 (すみよし かかん)

水墨・篆刻の「印花舎」主宰

千葉県教育委員会センター/千葉県立美術館
幅広い年齢層の方々が「墨の香」を体験し、水墨画の魅力を学ぶことができます。
千葉県立美術館センター/千葉県立美術館
千葉県立美術館センター/千葉県立美術館
千葉県立美術館センター/千葉県立美術館

活動歴
「住吉花間の水墨展」 千葉県立美術館
「水墨画の基礎講座」 千葉県立美術館
「墨の香」 千葉県立美術館
「墨の香」 千葉県立美術館
「墨の香」 千葉県立美術館
「墨の香」 千葉県立美術館
「墨の香」 千葉県立美術館
「墨の香」 千葉県立美術館
「墨の香」 千葉県立美術館
「墨の香」 千葉県立美術館

練習用の手本



山水



蛙(カエル)



笑い石榴 (実の多さが子どもを驚かす様子)



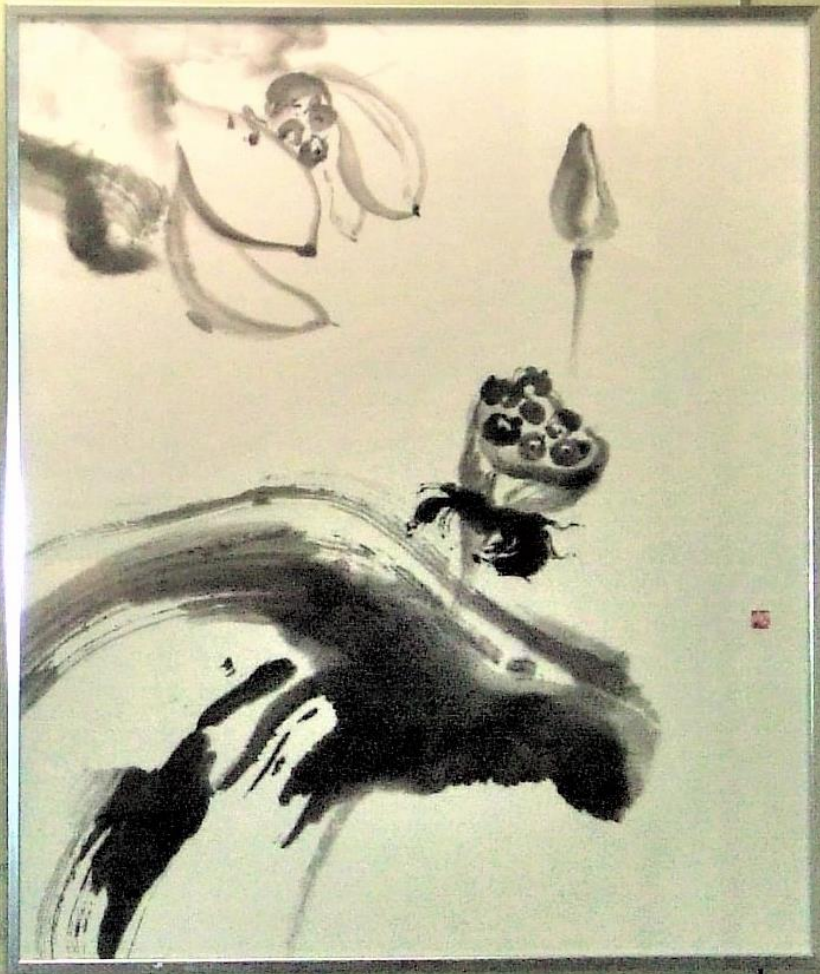
手長海老(テナガエビ)



蒲公英(タンポポ)



玉蜀黍(トウモロコシ)



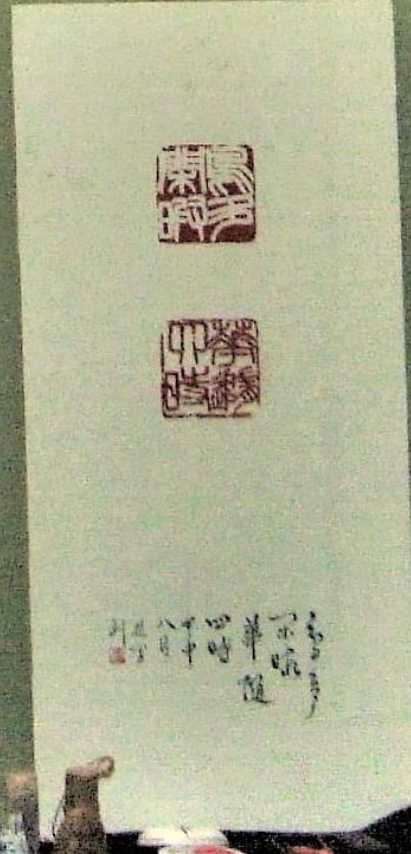
泥中君子 (泥は光の中から清香な花を咲かせる)

篆刻 (てんこく)

この印面の中を「方寸の宇宙」と言い、朱と白の陰影自体が鑑賞の対象になります。多くは書画の落款印(らっかんいん)として使用されますが、文章の味わい、文字の構成、刀の切れ具合等が見所となり、知識、技術、情緒が反映されます。



老梅吐艶 (老梅が艶やかに花を咲かせる)



鳥多園暇 花随四時 (鳥多園暇 花随四時)

水墨画と篆刻

K11-014
住吉 花間

令和2年2月1日～令和2年3月31日

